

おしえて 藤枝先生

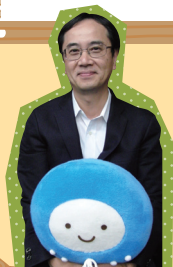
10月から基本接種に加わった 「水痘」の予防接種について

◇**水ぼうそう**、は水ぼうそうウィルスが体に入ることによって発生します。全身に水泡ができ、最後はかさぶたになって治まりますが、その期間は1週間～10日ほどです。

水泡を掻くことによって皮膚にいる細菌が増殖して増えます。通常はかゆみ程度で重篤（重症）にはなりません。

ただ、麻疹（はしか）と同じで空気感染しますからどこからうつるか分からず、感染経路の範囲が広い病気です。

高知大学医学部 小児科教授
藤枝 幹也 先生



これまでは任意接種でしたから30～40%の接種率しかありませんでした。そのため、全国で毎年100万人くらいのお子さんが水ぼうそうにかかっています。

合併症には脳炎（脳にウィルスが入る）と肺炎があり、その数は全国で年間3000人です。そのうち死亡者数は10人程と報告されています。

ワクチンについてですが、**副反応はほとんどありません**。一回のみの接種では免疫力が弱いので、**3か月後にもう一度接種**しましょう。そうするといい免疫がつきますよ。

